



sakushin ism



Sakushin Gakuin Elementary School

作新学院小学部

学院長 船田 元

〒320-8525 栃木県宇都宮市一の沢1丁目1-41

☎028(647)4576

FAX028(648)1823 <https://www.sakushin.ac.jp>



交通案内

◆JR宇都宮駅利用 西口バスターミナル⑥・⑦乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

◆東武宇都宮駅利用 東武宇都宮駅前バス乗場から
関東バス「作新学院駒生」行乗車

※いずれも「作新学院前」下車



SAKUSHIN GAKUIN
ELEMENTARY SCHOOL



作新学院小学部

2023

学校案内／募集要項

学風

「作新民。」「その”人間力”で、世界を変える、未来をつくる。」



👉 通常は、感染防止のためマスクを着用していますが、撮影のときだけマスクをはずしています。

知 育

——— 少数人数教育によるきめ細かい指導。

教育の基本は「教え込む」ことではなく、その子どもに備わっている能力と可能性を最大限に「引き出す」ように導くことです。そして、子どもが自発的に学べる環境を整えることです。作新学院小学部では、各教科の授業において、子どもたちの学習に対する興味や関心を高める様々な取り組みを通して、学習への意欲を引き出し、学力を確実に伸ばすことに力を注いでいます。また、少人数クラス編成でのきめ細やかな指導とチーム・ティーチングにより、授業に自然と集中できる環境を作り出しています。

徳 育

——— 感謝と思いやりの心を育む。

作新学院小学部の道徳教育は、キリスト教の愛の精神を基盤とし、成長に合わせてゆっくりと子どもを見守りながら「思いやり」の心を育み、愛情豊かに育てようとする教育です。学校での生活は、朝の祈りに始まり、帰りの祈りに終わります。また、月に二回の牧師による聖話では聖書から隣人愛について学び、他人を理解し、よい人間関係をつくることのできる子どもの育成に力を入れています。また、学校は子どもの社会性を養うところでもあります。規律や礼儀、言葉づかいなど日常のしつけ教育も徹底して行っています。

体 育

——— 体力と意志力の育成。

通常の授業の他に私立学校の特色を活かした多彩なスポーツ系年間行事を用意。体力だけでなく持久力や忍耐力などをそなえた強くたくましい子どもを育てます。また、男子は5・6年生になると必修クラブとしてラグビーの授業があります。仲間とともに取り組むことで楽しんで体を動かし、粘り強くやり通す精神や思いやりの気持ちを養うとともに、ルールを重視し楽しく仲良く運動ができるようにしています。



「確かな知力」「豊かな心」「やりぬく強さ」

＜リトルジェントルマン＞ ＜リトルレディ＞
小さな紳士・小さな淑女を育てる



学院長
船田 元



理事長
船田 恵

作新学院小学部は県内でただ一つの私立小学校です。小学部では私立の特色を生かし、児童一人ひとりが個性を十分に伸ばせるよう、教職員は細かい点にまで気を配りながら指導しています。特に学院の校風である人を思いやる優しさや、心の豊かさをもった人となるように、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を心がけ、それを実践しています。

創立者 船田 兵 吾 (1868～1924)

幼い時から学問が好きで、6歳の頃にはすでに『論語』を読みこなしたことから、“神童”と呼ばれる。また、田中正造とも親しく、彼から「日本における教育者の代表」と言わせるほどの人物であったという。作新学院の教育施設の整備に努め、学校発展の基礎をつくるために奔走し、1924年(大正13年)57歳で「教育」に捧げた一生を終える。



小 学 部 初代部長 船田小 常 (1903～1973)

小学部創設に尽力。キリスト教の愛の精神を道徳教育の基盤に据え、自ら、聖書の教えを子どもたちに説いた。また、将来の国際化社会に備え、創立当初より英語教育に力を入れた。更に、一流人の育成を目指し、日常の立ち居振る舞いや挨拶等の躰にも厳しかった。こうした初代部長・船田小常の教育理念は、「小さな紳士・小さな淑女の育成」という小学部の教育目標として、今日まで受け継がれている。



沿革			
昭和29年	作新学院小学部創設 外国人教師による英語学習を開始	昭和38年	委託給食開始
昭和34年	制服制定	昭和41年	新校舎落成
昭和35年	必修クラブラグビー部設置	昭和57年	小・中等部体育館落成
昭和37年	必修クラブ茶道部設置	平成 3年	多目的校舎新設
		平成 8年	TBSこども音楽コンクール最優秀賞(金管クラブ)
		平成14年	1学級25名基準、学年3学級編成を実施
		平成17年	小学部校舎の拡充
		平成21年	小・中等部食堂棟落成
		平成23年	新入生より新制服となる
		平成26年	小学部創立60周年

開設当初からグローバル化を見据えた英語教育。

コミュニケーションを重視した内容で、生きた英語を楽しく学びます。

国際的な感覚と感性を身につけます。

作新学院小学部の英語教育は、開設当初より来たるグローバル化を見据え、ネイティブの英語教師をいち早く導入。子どもたちが楽しく自然と英語力が身につけられる授業を展開してきました。英語力を身につけることは、意欲と環境が整いさえすれば何歳からでも可能です。しかし、発音や習得の効率性を考えた場合幼少期から学習を開始することが望ましいと考えられます。

現在、小学部では2人のネイティブの英語教師を擁し、生きた英語を習得できる学習環境を用意しています。私立学校ならではの質の高い教育が期待できます。

また、2020年度から英語が5・6年生で教科になり、今後、より確かな英語の力が求められることを考え、Reading・Writingの力も、学年に応じて身につけることができるようなプログラムを導入しています。



1年生から6年生まで、毎週2～4回、英語に親しんでいます。



歌やゲームを通して、ListeningとSpeakingを中心に「英語は楽しい」という子どもの心を大切にしています。



「英語が好き」と思えるように、自然な形で英語が身につくことを目指します。



ネイティブの先生とのコミュニケーションを通して生きた英語の活用を重点を置いています。

異文化体験教室

五感を通して、英語と英国の文化に触れます。

5年生は夏休みの7月下旬に、ブリティッシュヒルズで1泊2日の体験学習を行います。ここでのさまざまなカルチャーレッスンやマナー教室はすべて英語。生きた英語に触れながらの活動は、子どもたちにとって貴重な経験となることでしょう。



英語でチェックイン。ドキドキしたけど、通じてうれしい!!



英語で会話しながらメッセージカード作り。



イングランド起源の「クリケット」を体験。



マナーを学びながら美味しく楽しくお食事。



スコーンの作り方を教えてもらいました。



一人ひとりを大切に。

少人数クラス編成とチーム・ティーチングで
行き届いた指導を実現します。



小学部長
八島 慎宏

学ぶ姿勢を低学年からきめ細やかに指導。

作新学院小学部では、学校生活の中心となる学習に対する基本的な態度や学ぶ力を、低学年の段階からきめ細やかに指導。一人ひとりがよく学び、自主・自立・友愛の精神を尊重しながら、楽しい学校生活を送れるような環境づくりに努めています。



自ら学び、考え、解決していく力を育みます。

作新学院小学部では私立学校ならではの独自の教育プログラムで特色ある授業を展開し、子どもたちが自然と授業に集中できるようリズムを作り出しています。また、少人数クラス編成とチーム・ティーチングにより、個に応じたきめ細やかな指導を実現し、子どもたちの学力向上に高い成果をもたらしています。さらに、ほとんどの児童が本学院中部へ進学するという環境から、クラス全体に連帯感と緊張感が生まれ、子どもたちの自主性と学習意欲の高揚に相乗効果が得られています。



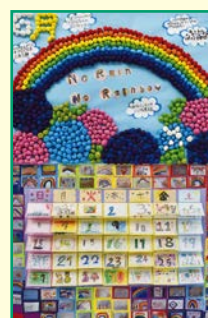
震災学習・被災地支援

東日本大震災から10年

続けてきた被災地の小学校との交流



小学部では東日本大震災以来、気仙沼小学校に毎年手作りのカレンダーを贈りつづけるなど被災地支援に取り組んできました。2021年には修学旅行で現地を訪れて、直接交流することができました。



贈り続けてきた
手作りカレンダーの1枚。



自分たちが贈ったカレンダーが
大切に飾られているのを見て、
あらためて交流の大切さを実感しました。



今年の3月には、気仙沼小の6年生とオンラインでの
交流も実現できました。
これは、小学部についてのクイズを出している場面。

必修クラブ



ラグビー

5・6年生の男子にはラグビーの授業があります。作新学院高等学校の体育教諭(ラグビー部)による技術指導を受けています。



ラグビー(男子)



茶道(女子)



茶道

5・6年生の女子は茶道家元のご指導で茶道を学んでいます。茶道を通し、日本の伝統文化に触れ、正しい礼儀作法を身につけます。

朝のお祈りに始まる、楽しく充実した毎日。

キリスト教の愛の精神を基盤とした情操教育を行っています。

毎週水曜日に朝の運動があります。



6年生は週番の仕事として、朝早く掃除活動を行っています。

登校

徒歩・バス・自家用車などで
8時15分までに登校します。
登校時は正門・アカデミア
ゲートのどちらからも入れます。



1 時限目

子どもたちの生き生きとした表情が密度の濃い授業を物語っています。

一日の流れ

8:15
読書・体操

9:00
1 時限目

9:55
2 時限目

10:50
3 時限目

11:45
4 時限目

12:30
昼食

昼休み
清掃活動

14:00
5 時限目

15:00
6 時限目

16:00
下校

下校

下校時も、児童の安全確保につとめています。

6 時限目

「やさいのせわ」発表会。
ロイロノートを活用し
学習効果を高めます。



2 時限目

歌やゲームを楽しみながら、生きた英語を身につけます。



3 時限目

音楽では、合唱や器楽合奏などを通して、豊かな情操を育みます。



4 時限目

先生のお話をよく聞いて、わからないことは質問し、疑問は今日のうちに解決します。



給食

ランチタイムはみんなで楽しく、残さずきれいにいただきます。



5 時限目

理科の観察や実験は新しい発見がいっぱい。児童の目が輝きます。



一校一家の精神

小学部では上級生が下級生をサポートすることが日常となっています。下級生を思いやる心を育てるとともに、上級生への感謝の気持ちと目上の人を敬う一校一家の精神が、脈々と受け継がれています。



上級生が正門で1年生を出迎え教室まで付き添います。



わからないことが多い1年生に6年生が優しくサポートします。



朝の時間に6年生が1年生に紙芝居を読んであげたりしています。

zoomでの朝の会

休校中には、zoomでの朝の会を行いました。保護者の皆様のご協力の下、多くの子どもたちと顔を合わせ、短い時間ですが言葉を交わすことができました。



じゃんけんゲームをクラスみんなで楽しみました。



zoomを通して、誕生日の児童をみんなでお祝い!!

学校行事を通して、社会性と協調性を養います。

子どもたちがめりはりのある学校生活を送ることができるように、1年を通して多彩な学校行事を用意してあります。一つの行事に子どもたちが主体的に関わっていく過程では、教科の学習とは違う活動の中から互いの能力を認め合い、よりよいものを創り出す喜びを感じることができます。また、学校行事と総合の時間を関連づけたプログラムを実践し、その内容をより充実したものにしています。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----------------|---------------|-----------------|---------|---------|-----|---------------------|-------------|-----------------|-----|---|
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| 入学式 | 春の遠足
幼小連携田植え | 修学旅行
親子給食会 | 親子のつどい
花の日訪問 | 異文化体験教室 | チャレンジ講座 | 運動会 | 感謝祭
秋の遠足
林間学校 | クリスマス礼拝・音楽会 | スキー教室
スケート教室 | 卒業式 | |

入学式



作新学院小学部での素晴らしい日々の始まりです。少し緊張しながらも希望に瞳を輝かせています。

春の遠足



新緑の豊かな自然の中で動植物と親しみながらクラスの仲間との友情を深めます。

幼小連携田植え



年長園児ともち米の苗を一本一本丁寧に植えます。10月末に刈り取り、12月には餅つきをして食べます。

花の日訪問



例年は子どもたちが日頃お世話になっている方や公共施設にお花をお届けしていますが、2021年はコロナ禍のため子どもたちが作った花の日カードを郵送しました。

チャレンジ講座



夏休み、各教員の得意分野を生かして約20の講座が開かれます。この講座ではスライム作りをしています。



金管クラブの演奏に合わせ入場行進。割れんばかりの歓声の中で溢れる笑顔とほとばしる汗。仲間と一丸になって勝利を目指します。

林間学校

3年生は塩原で、4年生が那須で1泊2日の林間学校を実施。寝食を共にして友情深めます。



感謝祭



アメリカの宗教行事の一つですが、小学部では毎年野菜や果物を持ち寄り老人ホームなどへ届けています。

長距離走大会



10月から11月にかけて子どもたちは毎日練習します。大会では完走する達成感と喜びを味わいます。大会後は役員の皆様が作ってくださる、おしるごとお雑煮を美味しくいただきます。

秋の遠足

秋の遠足は、さつまいも掘りやりんご狩りなど、実りの秋ならではの体験も。

幼小連携稲刈り

益子にて給付体験。

立派に育ったもち米を年長園児と一緒に稲刈ります。

クリスマス礼拝・音楽会



クリスマス礼拝のあとに音楽会を実施します。各学年ごとに発表する歌や合奏は、非常にレベルの高いものです。



スケート教室



3・4年生を対象に実施。1時間ほどの練習で、3年生も上手に滑れるようになります。

スキー教室



5・6年生を対象に実施。現地インストラクターの指導で、初めての児童も2日目には滑れるように。

特別養護老人ホームで高齢者の笑顔を支える！

養護施設で高齢者の笑顔を支える神山さんに、元学年主任の八島部長がお話を伺いました。



入居の方に笑顔でお世話をする神山さん



アカデミア・ステージにて八島部長と神山さん

神山 幸奈さん 特別養護老人ホーム
(社会福祉法人薫風会 富士見荘)

山梨県立大学 ◀ 宇都宮東高等学校 ◀ 宇都宮東高等学校附属中学校 ◀ **小学部(2011年卒)**

(八島) 今、具体的にどんなお仕事を？

神山さん 特別養護老人ホームで高齢者の身のお世話をさせていただいています。将来はケアマネージメントにも関われるように、社会福祉士と介護福祉士の資格を取りました。今は、日々の利用者との関わりの中で少しずつ役立てることができていると感じています。

(八島) 今のお仕事に達成感を感じるときは？

神山さん 利用者に「ありがとう。」と言ってもらえた時や喜んでもらった時です。人の幸せのお手伝いをする中で、自分も幸せな気持ちを共有させていただけるのは、とてもありがたいことだと思っています。

(八島) 今のお仕事につながるきっかけは？

神山さん 弟が障害をもって生まれてきて、ヘルパーさんに関わる機会が多く、弟の将来の助けになればと、志しました。大学で勉強し、実習に行き、素敵な仕事だなあと改めて思ったからです。



ダイニング・ラボのテラスにて

(八島) 小学部にいたころの思い出は？

神山さん 私が辛い時や進路がこれでいいのかわかっているときに今の部長先生がたくさん話を聞いてくださったことです。また、1・2年生の担任の先生が仰っていたチャンスの神様のお話も心に残っています。チャンスの神様は前髪が長くてたまにしか振り向かない。振り向いた時に勇気を出して前髪を掴まないとどこかへ行ってしまう、というお話です。「やった方がいいかな？どうしようかな？」と迷った時に「やるだけやってみよう」と思えるのはこのお話を聞いていたからかもしれないですね。

(八島) 小学部の後輩へのメッセージをお願いします。

神山さん 迷ったり困ったりしたら先生や友達とたくさん話をし、コミュニケーションをいっぱいってください。自分の気持ちを伝えて、相手の気持ちも聞いてみてください。お勉強も大事ですが同じくらい大事なことをお友達や人生の大先輩である先生方からたくさん学べると思います。優しい心で、相手のことを思いやって楽しい学校生活を送ってくださいね。



卒業アルバムより



勤務先での鈴木さん

劇団四季のミュージカルを通して「また明日からもがんばろう。」と思ってもらえるように。

久しぶりに八島部長と再会し、今の仕事と小学部での思い出、そして卒業してからの小学部への思いを語ってくれました。



アカデミア・ラボにて八島部長と鈴木さん

鈴木 隼さん 劇団四季(東京営業部)

日本大学 ◀ 宇都宮東高等学校 ◀ 宇都宮東高等学校附属中学校 ◀ **小学部(2010年卒)**

(八島) 今、具体的にどんなお仕事を？

鈴木さん 新宿・渋谷を中心に企業、学校への観劇行事のご案内・チケット販売といった営業の仕事をしております。遠足や修学旅行、福利厚生の一環としてご利用いただいています。また、チケットを買ってくださったお客様が劇場にいらっしゃる当日には、劇場での誘導もしています。



(八島) 今のお仕事に達成感を感じるときは？

鈴木さん まだまだ未熟なのですが、お客様の観劇機会のきっかけとなれることがやりがいです。また、劇場に入るときに持っていた悩みや迷いが、会場を出る頃には少しスッキリしているような、「明日またがんばってみよう」と思ってもらえるような仕事ができるとき、達成感を感じます。

(八島) 今のお仕事につながるきっかけは？

鈴木さん 8歳の時に出会った「キャッツ」に心動かされ、それからずっと劇団四季ミュージカルが大好きです。この仕事を選んだのはその頃のことが出発点になっていると思います。ちょうど小学部に通っているころですね。

(八島) これからの夢や目標を教えてください。

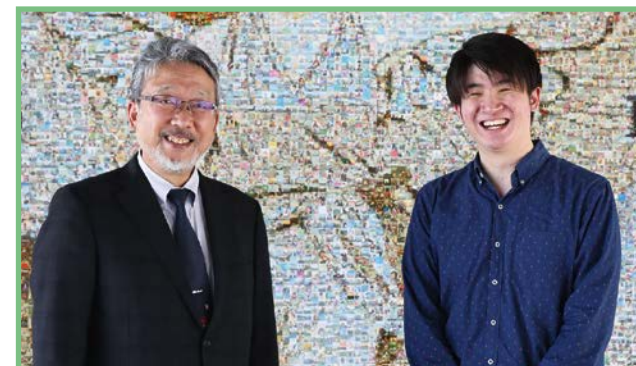
鈴木さん 「ライオンキング」など、ただ単にハッピーエンドで終わるだけでないストーリーの奥深さを、よりたくさんの人に知ってもらえるような活動をしていきたいと思っています。

(八島) 小学部にいたころの思い出は？

鈴木さん 行事も大切な思い出で語り尽くせませんが、6年間の日々、何でもない日常がいちばんの宝物です。友達との昼休みや授業、先生と好きなテレビの話をしたり、お手紙でエールをもらったり。小学部での記憶の一つひとつが当たり前のものではなかったのだと、卒業後の十数年間で気付かされました。

(八島) 小学部の後輩へのメッセージをお願いします。

鈴木さん 小学部で日々教えていただいたことが、今の自分の核の部分になっています。今までうまくいかないことに出会った時、何度も小学部での日々が背中を押してくれました。お友達とのつながりもずっと続いています。かけがえのない今を楽しんでください！



アカデミア・ステージにて

2023年度 募集要項

※新型コロナウイルスの感染状況により変更が生じる場合には、小学部HPでお知らせいたします。

入学試験	第 1 回	第 2 回
募集人員	男女あわせて約 75 名(1 クラス 25 名程度の 3 クラス編成) ※第 1 回入試が予定通り実施できた場合、第 2 回入試での募集人数は若干名です。	
出願手続	本学院所定の入学願書にて本学院事務局へ提出(駐車場は、正門前講師用駐車場) (願書配布は、7 月末頃から事務局または小学部職員室にて)	
出願期間	2022 年 10月31日(月)・11月1日(火)・2日(水) 受付時間 10:30～16:00	2023 年 1月10日(火)・11日(水) 受付時間 10:00～16:00
選考日時	2022 年 11 月 23 日(水・祝) 申込順に下記の時間を指定します 9:00/10:30/13:30/14:30	2023 年 1 月 14 日(土) 申込順に下記の時間を指定します 9:00/10:30
入学選考	心身両面の発達を調査し、本校教育に適する者を選びます。 合わせて保護者の面接も行います。	
選 考 料	1 万円	
合格通知	2022 年 11 月 25 日(金) ※郵送による通知	2023 年 1 月 14 日(土) ※郵送による通知
入学手続	合格者は2022年12月2日(金)までに 入学金8万円を所定の銀行へ振り込んで ください。(入学金は返金いたしません)	合格者は2023年1月18日(水)までに 入学金8万円を所定の銀行へ振り込んで ください。(入学金は返金いたしません)
そ の 他	・一日入学は2023年1月21日(土)。 ・教育委員会への手続きは、本学院で行います。 ・就学時健康診断は、指定された小学校で受けてください。 ・学区制限はありません。 ・卒業後の進路選択は自由です。 ・本学院中等部への進学は、入学試験を受け、その結果により認められます。	

入学諸経費

○諸納付金…170,980円 ※2022年7月 現在

■施設費 100,000円(入学時・2年より年間 20,000円) ■4月分授業料・教育充実費・実習費 35,600円
 ■学級経費 13,000円(半年分) ■保護者会経費 12,000円
 ■給食費 6,900円 ■その他の経費 3,480円

○購買用品…男子/約 73,800円・女子/約 75,800円

■制服一式 ◆男子 約 28,000円 ◆女子 約 30,000円
 ■体育着一式 男女共通 約 7,800円
 ■学用品・スモック・ランドセル(学院指定のもの) 男女共通 約 38,000円

○毎月の経費…45,500円

■授業料・教育充実費・実習費 35,600円 ■給食費 6,900円
 ■行事積立金 3,000円 ※4・5月は、学級経費 13,000円が含まれます。

※児童募集に関する個人情報の取り扱いについて/願書などに記載いただいた個人情報は、入学選考実施のための事務手続き、及び合否等の連絡、合格後における入学手続等の事務手続及びその連絡のために使用いたします。

学校説明会・公開授業参観

2022 年 10月20日(木)

聴蛙館

小学部に入学を希望する園児の
保護者の方々のご来校をお待ちしています。
駐車場は西駐車場です。

学校説明会

場 所/聴蛙館 3階
受 付/ 9:30～10:00
開催時間/10:00～10:40

公開授業参観

場 所/小学部各教室
授業時間/10:50～11:35

学童保育パレットのご案内



小学部では、第二校舎の一室に学童保育の部屋があります。
利用できるのは、小学部に在籍の1年生から4年生までの
児童で入会条件にあてはまる児童です。

- ◆新入生定員/15名程度
- ◆平日/下校時 ～18時(延長19時まで)

小学部体験教室

小学部に入学を希望する園児・保護者の方々を対象に
小学部教室にて「体験教室」を年2回開催しています。



安全対策

登下校時の 安全確保についての 小学部での対策

- 下校の際には、毎日バス停の方面ごとに教員が児童を引率しています。
- 通学範囲の広さを考慮し、安全確保のため、学校指定の子ども用携帯電話に限り条件を付して所持を許可しています。

作新学院

Eメール送信

休校や災害時の緊急連絡・
不審者情報などの連絡



作新学院
一の沢キャンパス

「作新アカデミア・ラボ」
地球の未来を創造する
「知と生命の実験場」



募集要項

小さな紳士・淑女を育てる

作新学院小学部